

NEWS RELEASE

2011年11月30日

在日フランス大使館 対仏投資庁日本事務所

<http://www.investinfrance.org/jp/>

**対仏投資庁 (AFII)、第 8 回 「日仏投資賞」授賞式を実施  
対仏投資に貢献の日本企業と対日投資に貢献のフランス企業を選出**

日本企業のフランス進出に関する様々な活動・情報支援を行うフランスの投資機関、対仏投資庁 (AFII) は、本日、フランス大使公邸にて「第 8 回 日仏投資賞授賞式」を執り行いました。式典には、フランソワ=グザヴィエ・レジェ 駐日フランス臨時代理大使および 対仏投資庁 対仏投資担当役員 ダヴィッド・ユベール=デリールが出席し、日仏両国の経済に大きく貢献したとされる日本企業とフランス企業を各 1 社選出したことを発表しました。

式典に先立ち、駐日フランス臨時代理大使は開会の辞を述べ、日仏相互の投資の重要性を強調し、両国の進出企業による雇用数が約 6 万 5000 人にのぼること、また 2010 年フランスが「日本の対外直接投資受け入れ国としてユーロ圏で第 2 位」であることを言及しました。

審査員を代表して、日本貿易振興機構 (JETRO) 副理事長 横尾英博氏より乾杯の辞が述べられ、式典の幕が閉じられました。

対仏投資部門では光学デジタル機器、オフィスビジネス機器で世界のトップリーダーであるキヤノン株式会社に、対日投資部門ではヘルスケア分野の世界的リーダー企業であるサノフィに賞が授与されました。各企業の概要と受賞理由、また受賞コメントに関しましては別紙をご参照ください。

日仏投資賞授賞式は、直接投資により両国の経済発展に著しく貢献した企業を表彰するもので、2004 年より年に 1 度執り行われています。

来日した対仏投資庁 対仏投資担当役員ダヴィッド・ユベール=デリール自ら対仏投資賞の授与を行いました。また、この機会に日本企業を訪問し、企業トップの方々と面談を行い、対仏投資プロジェクトの支援と、フランスの新しいビジネス環境について紹介しました。

### 対仏投資庁 (略称 AFII)

フランスへの国際投資誘致、進出企業向け支援を担当する国の機関。全世界におよぶネットワークで機能し、フランス全土の地方経済開発局との連携により、外国企業にビジネスチャンスを提供、ニーズに応じたサービスを提供している。詳細情報はウェブサイトをご参照ください。<http://www.investinfrance.org/Japan/>

詳細については、以下へお問い合わせ下さい。

在日フランス大使館 対仏投資庁日本事務所 広報担当

ジェレミ・エルヴェ (Jérémy HERVÉ) TEL : 03-5798-6144 (直通) E-mail : [jeremy.herve@investinfrance.org](mailto:jeremy.herve@investinfrance.org)

松木 麻子 TEL : 03-5798-6149 (直通) E-mail : [asako.matsuki@investinfrance.org](mailto:asako.matsuki@investinfrance.org)

**受賞企業概要**

企業名	企業概要と受賞理由	受賞のコメント
<b>◆対仏投資における貢献企業</b>		
<p><b>キヤノン株式会社</b> 2011年 対仏投資賞</p> <p>代表取締役会長兼CEO: 御手洗 富士夫 氏</p> <p>本社所在地: 東京都大田区下 丸子3丁目30番2号</p> <p>設立: 1937年8月</p> <p>従業員数: 197,386人 (2010年12月31日現在)</p> <p>従業員数(フランス): 2,463人 (2011年9月30日現在)</p>	<p>光学デジタル機器、オフィスビジネス機器分野における世界的リーダー企業。フィナンシャル・タイムズ・グローバル500で93位(時価総額)を獲得している。日本企業としては、早くから海外進出を果たしたパイオニア的存在である。グローバル事業を積極的に展開しており、世界全体の売り上げのうち日本以外での売り上げは8割を超え、中でも欧州は32%を占める。</p> <p>対仏投資の歴史は長く、初のフランス販売子会社 Canon France SASの設立は1975年に遡る。フランスにおける従業員数は約2500人に達し、様々な事業に従事している。ブルターニュの生産拠点で730名、レンヌの研究開発センターでは約70名が勤務している。また2006年、高品質スピーカー専門の仏Cabasse社を買収した。</p> <p>同社は、欧州では唯一フランスで、研究開発、生産、販売、メンテナンスという全事業を行っている。</p>	<p><b>(キヤノン株式会社 代表取締役副社長兼 CFO 田中 稔三様より)</b></p> <p>この度は、対仏投資賞の荣誉に預かり誠に光栄に存じます。</p> <p>キヤノンがフランスに進出する第一歩は、1975年のパリにおける販売会社設立でした。1983年には工場進出のお誘いにもとづき、ブルターニュ地方のリフレ市に事務機生産工場を作りました。また、1990年にはレンヌ市近郊に、通信や映像分野の研究開発拠点を設立し、フランス国内に販売、生産、研究開発の体制が整いました。</p> <p>フランスには当社が求める研究開発分野での世界トップクラスの人材のみならず、企業の研究開発に対する税制の恩恵が充実するなど環境に恵まれ、キヤノンの今後の成長を担うグローバル三極体制の重要拠点として貢献してくれる事を大いに期待しているところです。</p> <p>これまでキヤノンの事業を支えて下さいましたフランス政府をはじめ、地元関係者の皆さまに改めて感謝の意を表する次第です。今後とも、ご支援賜りますよう、心よりお願い申し上げます。</p>
<b>◆対日投資における貢献企業</b>		
<p><b>サノフィ</b> 2011年 対日投資賞</p> <p>会長 セルジュ・ヴァンベルグ (Serge Weinberg) 氏 CEO クリストファー・A・ヴィー バッハー (Christopher A. Viehbacher) 氏</p> <p>本社所在地: フランス、パリ 設立: 1973年(2011年5月6日 付で、社名をサノフィ・アベン ティスからサノフィに変更)</p> <p>従業員数: 約110,000人 従業員数(日本): 約3,000人</p>	<p>サノフィ・グループはフランス・パリに本拠を置き、世界100カ国に約11万人の社員を擁する。糖尿病治療、ワクチン、革新的新薬、希少疾患、コンシューマー・ヘルスケア、新興市場、動物用医薬品の7つの成長基盤を中核として、患者のニーズにフォーカスした治療ソリューションの創出・研究開発・販売を行う。同グループの2010年の売上高(希少疾患、動物用医薬品を除く)は、303億8,400万ユーロにのぼる。</p> <p>日本においては、医療用医薬品事業を行う「サノフィ・アベンティス株式会社」と、ワクチン事業を担う「サノフィパスツール株式会社」を中心に、2010年に22億2,500万ユーロの売上高を計上した。</p> <p>2011年1月現在、サノフィ・アベンティス株式会社は約3,000人の従業員を擁している。2005年以降、順調に業績を伸ばしており、2010年には日本市場で第10位*となった。</p> <p>*出典: Copyright 2011 IMSジャパン株式会社 IMS JPMデータ(2010 Dec MAT)無断転載禁止</p>	<p><b>(サノフィ・アベンティス株式会社 代表取締役社長 兼 サノフィ・シニア・バイス・プレジデント ジャパン&amp;パシフィック リージョン、ジェス・モルディング様より)</b></p> <p>「第8回対日投資賞」受賞の荣誉にあずかり、サノフィ・グループを代表して心より感謝申し上げます。</p> <p>私どもサノフィの日本における歴史は古く40年以上前に遡ります。世界第2位の医薬品市場であり、グループにとっても最も重要な市場の一つである日本において、「日本の健康と笑顔に貢献し、最も信頼されるヘルスケアリーダーになる」というビジョンのもと、医療用医薬品とワクチンの両事業を展開しております。また、2010年には、経済性に優れた高品質のジェネリック医薬品を日本でさらに普及させていくことを目的に、日医工株式会社との合弁会社「日医工サノフィ・アベンティス株式会社」を設立いたしました。</p> <p>サノフィは、予防と治療における製品とサービスの提供を通じて、日本の人々の生涯にわたる健康を支え続けるために、今後も日本の医療関係者や患者さんの多様なニーズに対応できるよう取り組んでまいります。</p>